

ひとりひとりひかる

きぼう

2014 10/1
第78号

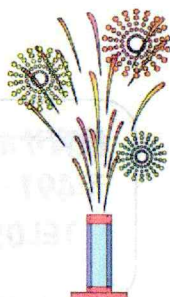
発行 : かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147

かしの木 ホームページ [http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



榎の木盆踊り

「榎の木盆踊り」が、平成26年8月11日(月)榎の木作業所で、開かれました。台風の影響により一日順延されましたが、地域の各グループの方々のご協力により楽しく夏の一夜を過ごすことが出来ました。途中での花火もみなさんが楽しめました。



78号 きぼうの目次

- 表紙・写真・目次・・・・・・・・・・P. 1
- 地域コーナー①・チャイブ・・・・・・・・P. 2
- 施設コーナー①・グループホーム・・・・P. 3
- 地域コーナー②/ステップ・・・・・・・・P. 4
- 施設コーナー②/療育プラザ・・・・・・P. 5
- 地域コーナー③/福祉情勢・・・・・・P. 6
- かしの木の会コーナー①/イベント委員会・・P. 7
- かしの木の会コーナー②/あつとホーム・どんぐりの会・・P. 8
- かしの木の会コーナー③/保護者会・園・・・・P. 9
- 掲示板/かしの木フェスティバル・・・・P. 10
- 文芸コーナー/・・・・・・・・・・P. 11
- お知らせコーナー/予定など・・・・・・P. 12

地域コーナー①

チャイブ夏祭り ありがとうございました



平成26年7月19日(土)毎年恒例のチャイブ夏祭りを開催しました。前日から天気予報は雨マークがついており、場所によっては激しい雷雨との予報に、当日の14:00まで開催できるかどうか危ぶまれていました。朝からちょうちんをつけたものの雷と雨で準備が思うように進まず、チャイブの電話は開催確認の問い合わせが多くありました。開始予定の夕方5:00になっても天気はなかなか回復せず、お客様が来てくれるのか本当に心配しました。

そのような状況の中でも【ののはな太鼓】の演奏から始まり、よさこい【天舞～tsubasa～】の力強い踊り、【踊りの会】の皆さんによる盆踊りと例年通りの盛り上がりを見せてくれました。時折雨が降るため、やぐらの上にはブルーシートを張り太鼓を保護しつつ演奏して頂きました。



天候が悪い為、模擬店の売上や来客者数も心配していましたが、例年以上にお客様に来ていただき、用意していた模擬店の商品が完売するなど

大盛況でした。近所の方たちはもちろん遠くから楽しみに来て頂いた方もいてとてもうれしかったです。近隣の方に駐車場を貸していただいたり、スタッフが駐車場の整理に対応してくれたおかげで昨年のようなトラブルもありませんでした。また、各模擬店は檜の木各事業所からの応援もあり、無事に運営することが出来ました。



ご協力頂いた皆様のおかげで盛大なイベントとすることができ、大変ありがとうございました。来年度も、地域に根ざした楽しいイベントとなるように企画運営していきたいと考えています。

チャイブ 川口

療育サポートプラザ「チャイブ」
〒491-0067 一宮市北丹町2番地
TEL0586-28-8288

施設コーナー①

そういえば、GH（グループホーム）の最近の様子や如何に・・・！

現在、檜の木福祉会では3つの共同生活援助事業所（GHCはぎわら・GHCびさい・GHCやまと）／14ヶ所のグループホーム（以下、GH）を運営しています。

H18年5月に法人初のホーム「こぶしの家」（定員5名）を開設後、8年間で入居者が51名になりました。

今回は、GHでの生活状況を現場で働く職員さんに紹介していただきます。

GHCはぎわら・やまと（中軽度）

一人ひとりが自分に合った生活を目指しています。平日は仕事に行き、休日はそのお給料で欲しい物を買ったり、行きたいところに出かけたりと、自分の時間を好きなように過ごしています。

中には友達や異性とのデートを楽しむ方もおられます。日曜日に仕事がある方や金銭的になかなか遠出ができない方もいらっしゃるので、半年に一度GHCの仲間で購入旅行に出かける事もしています。

利用者一人ひとりに個性があるように、支援の内容も個々に合わせて違います。

起床、着替え、朝食、出勤、仕事、帰宅、夕食、入浴、就寝といった一日の流れは私たちと変わりません。その中で、入浴に介助が必要な方、出勤時の身支度に支援が必要な方もおられます。お金の使い方がうまくいかない方には、無理のない計画を立て、今使えるお金を分かりやすく提示したり、GHでの生活や日中の出来事で困ったことがある時には相談できるよう職員さん達が

環境を整えています。実際、利用者間のトラブルや恋の相談など利用者から電話をいただくこともありました。

また、檜の木福祉会以外の日中事業所（一般就労も含む）に通う方もおられるので、利用者に変化があった時には連絡を取り合い、早期に対応できるよう心掛けています。

入居者が安心して暮らせるホームを目指しています。

GHCはぎわら 職員

GHCびさい（身体介護利用）

女性4名のGHはすみの家を紹介します。

H21年にかしの木の里からGHへ地域移行し5年目を迎えますが、皆さん「はすみの家が好き」とおっしゃいます。

大所帯の集団生活で自分の居場所を確保したり、ゆっくり時間を取って相談したりすることはなかなか難しいけれども、少人数ならばそういうことが可能になり、他の仲間との共同生活にも余裕が生まれ、今まで見られなかった良い表情が見られます。

生活場面での支援は、食事、入浴、排泄など多岐にわたりますが、介助の度合いに関係なく、出来るだけご本人の努力を優先しながら4人それぞれに必要な支援を行っています。「今日は、〇〇の仕事をした」、「今度の移動支援、楽しみ」といった何気ない話を大事にしながら、日々の支援を実践していきたいと思えます。

GHCびさい 職員



(おでかけの写真 in 浜松)



地域コーナー②

福祉マルシェ ”i・愛・逢マーケット” - 宮駅前販売 毎月第3火・水開催!!

みなさん「マルシェ」という言葉をご存知ですか？「どこかで耳にしたことはあるなあ」という方も多いかと思います。意味は？と言いますと、フランス語で「市場」という意味になります。ちょうど英語の「マーケット」やペルシャ語が語源の「バザー」と同義語になります。

一宮市自立支援協議会の就労支援部会では、今後この「マルシェ」という言葉を広めていけたら良いなと考えています。ちょっとおしゃれな感じがしませんか？！



販売風景

バザーという言葉は、「慈善市」という意味も含むそうです。福祉というと、これまであちらこちらで「〇〇バザー」という呼び方が一般的で馴染んでいるかと思いますが、「慈善市」という意味からも少し脱した方向に向かう必要性もあるように感じます。

一宮市の福祉事業所では、クッキー、シフォンケーキ、パン、プリン、せんべい、ジャム、豆腐などの食べ物やクッションやヘアゴム等の縫製品などの自主製作品を作っている事業所が多くありますが、どこも味や内容にこだわって他の店に勝るとも劣らない商品にするように努力を積んでいます。

その成果を見られる機会の一つが、一宮駅前販売です。昨年の10月より名鉄百貨店のご協力で行ったプロジェクトですが、お客様の延べ人数が7月15日(火)に1万人を達成しました。1万人目とその前後の方々には、記念品を贈呈しました。このことは、新聞やケーブルテレビ等でも紹介されましたので、ご存知の方

もいらっしやると思います。



1万人目のお客様に記念品贈呈

就労支援部会では、この一宮駅前販売プロジェクトが、より広く皆さんに周知されるように名称を「^{あい}・^{あい}・^{あい}愛・逢マーケット」としました。今後は、マスコットキャラクターのようなものを考案していく予定です。

今後の課題としては、販売会での収益を高め、福祉事業所で働く障がいのある方々の給料を上げることを始め、地域の中で「働きたい」と思っている障がいのある方々をサポートしていくネットワークの構築、そしてそのネットワークに携わる人材を発掘し育成していくことです。



パンの販売をするわがんせスタッフ

一朝一夕には成し遂げられませんが、より多くの方々のサポートと理解を得ることで、だれもが住みやすい街「一宮」を創っていけると信じ、また、その一役を担えるように精進していきたいと思えます。

ステップ 伊藤 豪

施設コーナー②

療育サポートフラザ チャイプ



療育サポート事業が始まってから今年で6年目です。これまでたくさん子どもたちや、それを支える親御さんたちと出会ってきました。その中から、私たちが日々の業務の中で感じ、大切にしていきたい思いをこの機会にご紹介させていただきたいと思います。

★相談

お子さんの発達に関して、気になることや悩みなどについて個別相談をおこなっています。また、必要に応じて、その子が通っている園や学校へ赴き、その子にとって過ごしやすい環境が得られるように先生方と一緒に話し合っています。また、個別相談の他に、お母さん同士が話し合える場もあります。



おはなし会「ひかり」(第1・3火曜日)
毎回のテーマにそってお母さんたちが集まり話し合える場所になっています。※申し込み不要

★体験療育

未就園～就学前のお子さんへ/
小グループ(ときどき個別)の療育体験



体験療育では、その子自身が考え、1人で活動出来るようになることを目標としています。自立課題や親子遊び、主活動などの時間を通して「わかる」「できる」「楽しい」体験が1つでも多くできるように

様々なアイデアを出し合い、工夫を凝らしたプログラムを提供しています。必要に応じて個別のスケジュール表を用いるなどして、丁寧な対応を心掛けています。

★子育て支援

未就園児の親子あそびの場「そうさんひろば」

第2火曜日…1歳児グループ

第4火曜日…2歳児グループ

親子遊び、リズム遊び、パネルシアターなどをして親子で楽しく遊びます。※申し込み不要



療育スタッフが目指すこと・・・

・気持ちを軽くしていくこと
ご本人やご家族の「なぜ?」「どうして?」という思いを聞かせていただきながら、その気持ちに対して寄り添い、また一緒にその問題を整理しながら、少しでも生きにくさを改善していければと感じています。

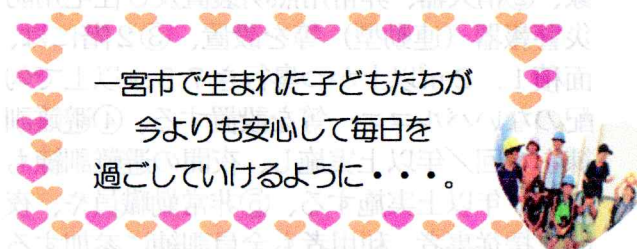
・^{つな}繋いでいくこと

相談場面や体験療育の場面で見られたお子さんの発達状況をきめ細やかに整理し、その子にとって適切なサポートが得られるように、その子が通っている園や学校に支援のポイントを^{つな}繋いでいくことがチャイプの機能です。



・耕していくこと

保護者の方、お子さんが通っている園や学校の先生たちから、障害の理解が深まることと、必要なサポートがその子に届けられるように、勉強会などを通して発達の気になるお子さんの支援体制の充実を目指しています。



一宮市で生まれた子どもたちが
今よりも安心して毎日を
過ごしていけるように・・・。

鷺尾・吉田

地域コーナー③

グループホームに関する 最近の情勢について

平成26年7月5日の朝日新聞朝刊に、愛知県の空き家（戸建）を活用したグループホーム（以下GHと表記）の規制緩和に関する記事が載っていた。平成22年の時点で、愛知県は人口10万人あたりのGH利用人数が29人と、全国の都道府県で2番目に少ない状況であった。そこで、県は現にある空き家（戸建）を活用してグループホーム設置の促進に乗り出した。建築基準法では、平成20年にGHを寄宿舍扱いすることと規定された。しかし、寄宿舍には消防法で様々な構造上の規制がかけられており、これをクリアするにはGHを新築で建てる費用の2/3くらいの経費が必要となる。もちろん、安全対策を十分なものにすることは大切であるが、一方ではGHの整備にブレーキがかかることになるという現状がある。

県は、次の様に説明します。しょうがいのある人が住み慣れた地域で自立した生活をするためには、GH等の住まいの場の確保が重要となっており、（中略）促進を図っているところですが、新築により整備を進めることは建設費用の点で容易なことではありません。（中略）こうした手続きを経て、「既存の戸建て住宅を障害者GHとして活用する場合の取扱要綱」を策定し、（中略）平成26年4月から実施することといたしました。

その概要としては、①地上2階以下かつ延べ面積200㎡未満の既存の戸建て住宅が対象、②消火器、非常用照明装置及び住宅用防災警報器（連動型）等を設置、③2階には、面積1.2㎡以上かつ奥行き75cm以上で勾配のないバルコニー等を設置する、④避難訓練を3回/年以上実施し、夜間の避難訓練も1回/年以上実施する、⑤非常勤職員や、夜間支援従事者、利用者も全員訓練に参加する。可能な限り地域住民等が参加する訓練も実施する、⑥夜間支援従事者を配置する。（配

置しない場合は、自動火災報知設備及び消防への火災通報報知設備を設置）等である。

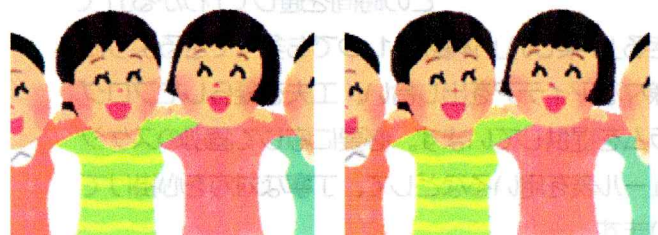
また、県は、平成26年3月26日付消防庁次長通知「消防法施行規則の一部を改正する省令の交付について」のスプリンクラー設備を設置することを要しない構造についての見直しに伴い、平成26年7月14日付で「同年度障害者GHのスプリンクラー整備について（通知）」を各GH設置法人向けに通知し、同年度の障害者GHのスプリンクラー整備に対し、規定により補助金を交付することとし、県内のGH設置法人のスプリンクラー整備の促進を図った。

その他、県は障害福祉サービス事業者に対し、平成26年8月18日付で「共同生活援助事業における共同生活住居の設置に係る基準の取扱いについて」を通知し、大規模住居における集団的処遇を規制する観点から、原則1つの建物の中に複数の共同生活住居を設置することができない旨の基準が明記された。

一方、一宮市は市内の各事業者に対し、平成26年8月5日付で「一宮市障害者GH建設補助金に係る事業計画の再募集について（依頼）」を通知した。これは、一宮市障害者GH建設補助金希望者が、本年度の予定数に達していないということで再度募集をかけたものである。

このように、一宮市を始め愛知県のしょうがい者GH整備の促進に関する規制緩和及び補助事業等は確実に進められているところである。願わくば、GHの報酬の単価が実態に相応しいものに改正され、安定した経営体制の確保された適正な居住支援を展開して行きたいものです。

文責 橋本 昭一



かしの木の会コーナー①

イベント委員会

かしの木の会交流会

「名鉄犬山ホテルの食事会と犬山城周辺散策」

に参加して

平成26年9月12日、晴天に恵まれ、かしの木の会交流会として、「名鉄犬山ホテルの食事会と犬山城周辺散策」をイベント委員会主催で開催させていただきました。市の福祉バスを利用して、広報委員会8名、研修委員会11名、バザー委員会7名、イベント委員会2名、あっとホーム委員会2名の計30名の参加があり、和やかな雰囲気の中、笑顔の絶えない一日でした。



今回はイベント委員会が主催させていただきましたが、福祉バスの定員が35名ということもあり、参加者をどう募集するか、運営委員会で相談いたしました。その結果今回は各委員会に取りまとめをお願いすることとし、日頃からそれぞれの委員会の定例会に参加し、活動されている方々に声をかけていただき、慰労と親睦を図っていただくように企画いたしました。今回の交流会の連絡がなく、参加の機会がなかった方々は、所属している委員会の定例会に参加いただき、来年は参加していただきたいと思っています。ただ福祉バスの人数に限られていますので、各委員会に参加人数の調整をお願いすることになります。どうか交流会の主旨をご理解くださいますよう、お願いいたします。



今回の交流会は、バス乗り場をかしの木の里と浅井山公園の2カ所とし、自宅に近い所で乗車していただきました。名鉄犬山ホテルには11時半頃に到着し、ランチバイキング90分制ソフトドリンク付きでしたが、ランチは美味しく、品数も多く、評判が良かったようです。帰りにアンケートに協力していただきましたが、「ランチが美味しかった」の意見が多く、86%の方に満足したと回答していただきました。また、「普段交流することのない方と話すことができ、良い時間を過ごせました。」などの感想をいただきました。各委員会の枠を超え、日頃ご一緒しない方々と交流することができ、会員相互の交流の大切さを改めて実感いたしました。



食後に犬山城周辺散策に出かけましたが、時刻が1時を過ぎており暑く、時間に余裕もなく、ゆっくり過ごしていただくことができませんでした。

来年度も参加したいとの声も寄せられました。実施の有無を含めて、検討を進めてまいります。

交流会にご参加いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

イベント委員会 中村 直美

かしの木の会コーナー②

あっとホーム委員会（どんぐりの会）

私達「どんぐりの会」は、主に尾西地区を中心に活動している障がい児の親の会です。現在は、社会人5名、在學生6名の計11家族が参加しています。20歳以下の障がい児がほとんどという、かしの木の会の中では若い世代ともいえる私達ですが、会の歴史は意外と古く、発足は平成6年、今から20年前のことになります。



当時の尾西市には、在學生の親の集まりがなかったので、お互いの情報交換や将来について話し合える場が欲しいというのが発足のきっかけでした。障がいの種類や程度もさまざまな子を持つ親たちの集まりだったので、自分の子供の障がい以外にも理解を深めることができ、親も子も交えた交流をしてきました。

現在の活動は、月一回の定例会を軸にし、バザーに参加したり、勉強会をしたり、ボランティア連絡会の活動にも参加したりと、地域に密着した活動を中心にし、日々頑張っております。

バザーについては、かしの木のふれあいバザー、尾西まつり、かしの木フェスティバルの不用品中心のバザーと福祉とボランティア展、福祉のつどいのような手作り品中心のバザーに参加させていただいています。なかなか手作り品を作るのも大変になってきましたが、これからも頑張っていこうと思っています。

勉強会に関しては、これからの福祉の状況や檜の木福祉会やその他の福祉会の現状

など、いろいろと教えて頂いています。実際、私が勉強を始めた頃は自立支援法などなく、親達が頑張って施設を作らないといけないのよ…と聞いたりして、これからどうすればいいのかすごく悩んだものでした。

しかし、勉強会の度に社会（世の中）や法律が変わっていき、自分達で何かをやるということは無理だとわかり、地域に根付いて生活出来るように願い、かしの木の会のあっとホーム委員会に入り、現在活動しています。

ボランティア活動では、尾西庁舎の七夕の飾り付けや赤い羽根など参加させて頂いています。年数回ではありますがボランティア連絡会の行事にも参加し、楽しく活動しています。

私達「どんぐりの会」の親と子その兄弟も楽しめるようボーリング大会、水遊び、クリスマス会なども行っています。そのいろんな活動を『どんぐりだより』として広報活動し、地域の皆様に知ってもらおう努力もしています。



福祉とボランティア展、福祉のつどいの折には、日頃の親の思いや子供の成長などを書かいた『つぶやき』という冊子も配布させて頂き、行政や地域の皆様に読んでもらっています。

こういった地道な活動を、ずっと続けていけたらいいなあとと思っています。これからも『どんぐりの会』をよろしく願います。

どんぐりの会・清水

かしの木の会コーナー③

オリーブの家を見学して

7月16日(水)に園の保護者14人で、グループホーム「オリーブの家」の見学に行きました。

グループホームの職員の林さんの案内で、入居者の方の部屋を見学しました。6帖のフローリングで、押し入れが1つありました。皆さんベッドを使ってみえて、家具はテレビと小さなタンス、椅子などがありました。中には、転倒された時に怪我しないように、畳を敷いている方もみえました。



《居室》

入所の方たちの普通の過ごし方は、平日はホームで過ごして、週末は夕食後に、「自宅へ送って貰うそうです。」建物の真ん中あたりに、食堂があり、食事は委託業者から食材が運ばれて、職員さんが調理するそうです。オール電化で、調理中に利用者さんが台所に入っても、火傷などされる心配がなくて良いなと思いました。テーブルに8脚の椅子があり、談笑しながら食事をしている姿が、浮かんで来ました。



《食堂》

《キッチン》

グループホームの外観は平屋で日当たりが良く、見学した日は天気良かったので、

洗濯物や布団が外に干してありました。雨の日などは、利用者さんが寝たら食堂の天井から棒を伸ばして、物干し竿を渡して洗濯物を干すそうです。



《ホーム 外観》

台所と廊下の間に物置みたいな空間が有り、小窓も付いているので何かな?と、思ったら「夜間に職員さんが仮眠を取りながら、利用者さんの様子を見る部屋です。」と説明され、よく見るとクーラーも付いていました。色々な所に、工夫をされているんだなと思いました。



《ショートステイ用の居室》

短期入所の部屋が、2つありましたが、まだ利用の予定をしてないので、折りたたみ式のベッドが入っただけでした。もし、利用する方が見えたら入所している方とは別に、職員さんが1人付かれるそうで、食事も別にとって貰えるようにテーブルも用意されていました。林さんは、入所の方と交流が出来たら、食事や、余暇時間を一緒に過ごして貰うことも、考えてみえるとのことでした。

グループホームの契約をした順に、入所できた方が良いのですが、個々の家庭の事情があり、色々と利用者さんの親と職員さんと相談したり職員の会議で、話し合ったりして入所する方を決めていくそうです。

我が家の息子も、いずれはグループホームに入所させるつもりなので、これからも色々な所の見学や勉強会に参加したいと思っています。

園・保護者 浅野

第14回
かしの木
フェスティバル

～つなごう てとて
 ひろげよう みんなのわ～

日時 2014年11月2日 日
 9:45～14:00 (小雨決行)
 場所 富田山ひろば (尾西グリーンプラザ北)
 臨時駐車場: 豊田合成尾西工場駐車場 (シャトルバス臨時運行)

入場 無料

家族やお友達
 みんなで
 遊びに
 来てね!

梅堀店
 フリー
 フォット
 など
 盛り
 だくさん!

お問い合わせ

かしの木フェスティバル事務局
 (かしの木の里 南隣)

住所 〒494-0018 一宮市富田字砂原 2142
 TEL(0586) 63-2111 FAX(0586) 61-1200
 [MAIL] fukusikai-1@kasinoki.jp [HP] http://kasinoki.jp



主催 / 榎の木福祉社会、かしの木の会 後援 / 一宮市、一宮市教育委員会、一宮市社会福祉協議会、一宮市尾西ボランティア連絡会

文芸コーナー

ひとりひとりひかる榎の木 1

歴史のある榎の木福祉会にお世話になった当時の理事会の様子を振り返ってみると、自分の経験とはひと味違う世界に無謀にも飛び込んだとの反省もいま多少あります。

会議の協議内容も障害者福祉専門用語が多く、理解できないことばかりで戸惑いを感じていた。“ひとりひとりひかる” 榎の木福祉会の創立精神にそぐわないことがあるのに驚きを覚えていたことは忘れられません。

就任当時の私には大きな仕事だと捉え、これを自分の中心課題として、榎の木福祉会へのボランティア活動を推進しようと決意しました。大きな建物のかしの木の里の玄関に足を一步踏み入れたとき、そこには利用者さんの賑やかな声とともに支援員さんたちの往来と重なり、通れませんでした。散歩に出かけたり、就労作業から戻る利用者さんたちの体からの熱気が溢れていました。



※さあ！みんなで出かけるぞ！

“この子等に幸せを” 親であり身内であれば平和で自由・平等なわが国です。このおもいは、利用者さんの関係者の誰もがみな抱いている願いであると私も考えています。

ひとりひとりひかる活動の様子を数回に分けて紙面で紹介する計画ですが、掲載できない場合にはお許しください。



※僕たちの体は、僕たちが口にする食べ物から出来ているんだよね！！

喫茶らちえつとがオープンして、ランチサービスが始まってからのお昼どきは時間があればいつもそこにいます。そして、ここに集まるお客さんとお話をしています。

多くの方々は、榎の木の利用者さんと家族の方や職員さんです。また、他の福祉施設の方や常連さんもおいでになっています。コーヒーを飲みながらのお話に、会社の友達に“いまどきあんな京都の竹林を想わせる眺めの良い喫茶店はこの近くにはない” 一度みてきたらと薦められたとのこと。“でも、あのねぎはない方がよい！” とひとこと。

ガラス越しにみるらちえつとの昼食時、一口ずつ口に運ばれたときのしぐさ、利用者さんの動かない体から出た長い足、精一杯伸ばしたり曲げたり、今にも「おいしい！」という声が聞こえてきそうな“ひとりひとりひかる” いつもの風景。

文責 理事長 橋本浩

お知らせコーナー

【 行事予定 10月~12月 】

福祉とボランティア展

日時・・・10月18日(土)~19日(日)

場所・・・一宮スポーツ文化センター

稲沢福祉まつり

日時・・・10月25日(土)~26(日)

場所・・・稲沢市勤労福祉会館

千ンドン祭

日時・・・10月19日(日)

場所・・・一宮市萩原商店街

かしの木フェスティバル

日時・・・11月2日(日) 9:45~

場所・・・富田山グラウンド

びさいまつり

日時・・・10月25日(土)~26(日)

場所・・・一宮市尾西庁舎周辺

福祉のつとめ

日時・・・11月9日(日) 10:00~

場所・・・一宮市尾西商工会館

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

| | | | |
|-----------------|------------------------|---------------------|--------------------------------|
| かしの木の会 事務局 | 〒494-0018 | 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel 0586-63-2111 |
| | | かしの木の里内 | Fax 0586-61-1200 |
| 榎の木福祉会 (法人代表) | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | | Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200 |
| ☆榎の木作業所 ・ どんぐり | 一宮市富田字漆畑 16 番地 | | Tel/Fax 0586-61-6055 / 61-6514 |
| ☆榎の木園 | 一宮市富田字若宮 17 番地 | | Tel/Fax 0586-62-8202 / 62-8253 |
| ☆ステップ | 一宮市明地字上平35番地の1 | | Tel/Fax 0586-68-1207 / 68-1241 |
| ☆かしの木の里 | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | | Tel/Fax 0586-63-3270 / 61-1200 |
| ☆かしの木サポートプラザ | 一宮市北丹町2番地 | | Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188 |
| ☆らちえっと | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | | Tel/Fax 0586-62-6117 / 61-1200 |
| ☆喫茶 ・ らちえっと | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | | Tel/Fax 0586-62-6135 / 61-1200 |
| ☆カフェ ふらっと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 | | Tel 0586-67-5070 |
| ☆園芸センター さいた | 一宮市西五城字山方 21-1 | | Tel/Fax 0586-62-0039 |
| ☆わがんせ | 一宮市祐久字九百坪 204 | | Tel/Fax 0586-68-2700 / 68-1250 |
| ☆相談支援 ゆんたく | 一宮市大和町馬引字引郷裏 42 | | Tel/Fax 0586-64-5882 / 64-5852 |
| ☆就業・生活支援 すろーぶ | 同上 | | Tel/Fax 0586-85-8619 / 64-5852 |
| ☆療育サポートプラザ チャイブ | 一宮市北丹町2番地 | | Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188 |
| ☆居宅介護事業所 きーぶ | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | | Tel/Fax 0586-63-2122 / 61-1200 |
| ☆G. H. C はぎわら | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | | Tel 0586-67-1787 |
| ☆G. H. C びさい | 一宮市祐久字九百坪97 | | Tel 0586-68-6505 |
| ☆G. H. C やまと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | | Tel 0586-67-1787 |